THE ROTARY CLUB OF TAKATSUKI　国際ロータリー　第２６６０地区

高槻ロータリークラブ
2018～2019
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

Ⅰ．真実かどうか

Ⅱ．みんなに公平か

Ⅲ．好意と友情を深めるか

Ⅳ．みんなの為になるかどうか

事務所　オーロラモール高槻西武６階　〒569-1116　高槻市白梅町 4-1
TEL　072-683-1158　FAX　072-683-1174
E-mail　takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp
例会日　毎週水曜日　12:30～13:30
例会場　オーロラモール高槻西武６階　多目的ホール　TEL　072-684-5379
創　立　1954 年 6 月 15 日
会長　伊藤智秋　**幹事**　石田佳弘　**クラブ運営委員長**　河合一人　**会報担当副委員長**　長山正剛

No.10　　2018 年 9 月 12 日　発行

９月は基本的教育と識字率向上・ロータリーの友月間

第 3133 回 本日（9/12）の例会

◎　ソング・・・4つのテスト
◎　卓話　　古川　大介　君
「　　」
上村　富美男君
「 働き方改革について 」

第 3134 回　次週（9/19）の例会

◎　ソング・・・それでこそロータリー
◎　卓話　　丸山　俊郎　君
「　　」
山口　　誠　君
「 ラストオーダー 」

先週（9/5）の例会から

◎ゲスト・ビジター　　計 0 名

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
51　名	37　名	75.51　%
前々回例会補正後出席率　87.5　% 但し、　Mup　4　名　　欠席者　6　名 出席規定摘用免除有資格者　3　名		

◎会長の時間

日曜日、高槻市の食育フェアーがございました。
社会奉仕委員会主導で、本年もインターアクトの生徒達と一緒に「危険ドラッグ乱用禁止　キャンペーン」として絆創膏とパンフレットの配布を致しました。暑い中、ご参加下さいました皆様、お疲れ様でした。
さて、9 月は「基本的教育と識字率向上月間」及び「ロータリーの友月間」です。
ロータリーでは月ごとに強化月間が決められております。
7 月は新しい組織が発足しますので特に決まっておりません。
8 月　会員増強　新クラブ結成推進月間
9 月　基本的教育と識字率向上月間
10 月　米山月間　経済と地域社会の発展月間
11 月　ロータリー財団月間
12 月　疾病予防と治療月間
1 月　職業奉仕月間
2 月　平和と紛争予防　紛争解決月間
3 月　水と衛生月間 ローターアクト週間
ロータアクトデー 3/13
4 月　母子の健康月間
5 月　青少年奉仕月間
6 月　ロータリー親睦活動月間
このうち、
9 月　基本的教育と識字率向上
10 月　米山月間　経済と地域社会の発展
12 月　疾病予防と治療
2 月　平和と紛争予防　紛争解決
3 月　水と衛生
4 月　母子の健康
この 6 つを「六重点分野」と言います。
「ロータリークラブ六重点分野」という小冊子が発行されております。

インスピレーションになろう

バリー・ラシン　RI 会長

地域社会を何よりも大切にするロータリー。各地域の特別なニーズに応える活動が実施されています。ロータリー会員は、世界で最も支援が必要とされる人道的ニーズは何かを考え、長期的な変化をもたらすために、特に六つの分野に重点を置いて活動しています。
奉仕プロジェクトを立案する際は、これらの分野を意識することが奨励されております。

◎幹事報告

・大阪府安全対策協議会より「秋の全国交通安全運動」ポスターが届いております。後方テーブルに置いてありますのでご覧ください。

◎委員会報告

○クラブ研修委員会　　上村　富美男

ロータリーの友誌９月号推奨記事のご案内をさせていただきます。会員の皆さまには「推奨記事のご紹介」を配布しておりますので、ご参照ください。

○青少年奉仕委員会　　内本　　繁

高槻中学高等学校文化祭が開催されます。
インターアクトクラブの皆さんが展示をされておりますので、ぜひご来場の上ご覧になっていただきたいと思います。入場には事前登録が必要となりますので、お申し出ください。

【場　　所】　高槻中学高等学校
【日　　時】　９月 16 日（日）11：00
【集合場所】　校門前
【参 加 費】　無料

○職業奉仕委員会　　稲富　　博文

９月２日市民の健康食育フェアが開かれ、総勢 2,500 名の方が参加されました。当クラブからは、ロータリアン 19 名・インターアクター10 名が参加し、薬物乱用のチラシ・キズテープの配布を行いました。インターアクターはダメゼッタイ君の着ぐるみを着て楽しく活動されていました。当日の資料を配布しておりますのでぜひご覧ください。

◎卓話

「「いのちキラキラ食栽活動」のココロ」　本多　　了

原稿は別掲載しております。

◎例会後の行事

日　時：2018 年９月５日（水）13：40～14：05
場　所：例会場
出 席 者：伊藤、石田、清水、稲富、入谷、片山、河合
川面、小阪、白石、西本、藤松、浜田、
藤井、山室、飯田
欠席者　：長山
ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ　：大木、山口

議題１　議事録確認
議事録を確認して承認した。

議題２　会計報告
飯田副会計より会計報告がなされ承認された。

議題３　10 月、11 月スケジュールの確認
クラブ運営委員会（河合委員長）
９月 26 日　ガバナー補佐訪問
例会後クラブアッセンブリー
10 月　３日　記念月お祝い　委員会例会
10 月 10 日　ガバナー公式訪問
10 月 17 日　職業奉仕委員会職場見学会
イントロダクション
10 月 24 日　卓話　白石会員　飯島会員
10 月 31 日　休会
11 月　７日　記念月お祝　卓話　藤田会員
11 月 14 日　卓話　川面会員
11 月 21 日　卓話　光本会員　田渕会員
11 月 28 日　卓話　西田会員

例会後行事 11 月７日理事会と 65 周年

議題４　職業奉仕委員会（西本委員長）
10 月 17 日　職業奉仕委員会が例会中
卓話時間にイントロダクションし
例会終了後 DVD を上映し講演する。
→承認

議題５　その他
社会奉仕委員会（稲富委員長）
(1) ユニフォーム
見積もりとデザインを出しているところなので、次回報告する。
(2) オレンジゴスペル
11 月３日高槻多目的ホール 17 時 30 分～高槻 RC、高槻東 RC と高槻西 RC が主催する。後援について、高槻市と高槻市医師会、高槻市歯科医師会、高槻市薬剤師会。これらに 3RC として後援の要請をする。
→承認

クラブ運営委員会（大木会員）
サマーBBQ の会計が 2,040 円余った。
次回繰越金で委員会事業費として最後に決算する。

大阪北部地震の件
西 RC 近藤さんから礼状が来ている。
ブロック塀の下敷きになった少女の命を無駄にしないため、通学路安全のために日本中の RC から支援をいただいたものを８月 28 日に高槻市に持って行ったことのお礼。北部震災のプロジェクトのための事後承認になるが、予備費から５万円を出した。　→承認

会員増強委員会（藤松委員長）
会員増強に動いてほしい
→了解しました。

報告事項　1、歓送迎会の件
2018 年９月 20 日（木）18 時～山水館
2、その他
抹消

「いのちキラキラ食栽活動」のココロ

平成３０年９月５日

本多　了

今年度が始まって間もない例会で、伊藤会長が「今更聞けない　いのちキラキラ食栽活動」という、粋で思いやりある表題での会長卓話をされました。
当クラブの眼玉活動であり、誰もが共有しておきたい重要課題です。　これを受けて、この活動の発端に携わった者の役割として、活動の理念ともいえる大切なココロについてお話します。
ロータリークラブにとって、社会への奉仕活動としては、地域の幼い子供達の心を育む事は大変に意義深いものです。　２００８年に高槻市立全幼稚園の２３園（初年度は７園）にて、野菜の「いのち」を一人一鉢で育てることにより、幼児期に「いのち」の尊さ、大切さ、不思議さへの感性を身に着けるべく、幼稚園とロータリークラブとが協働で取り組むことを、幼児教育支援活動として、市の教育委員会に提案協議して活動を開始し、成果を重ねつつ１０年を経過しました。

１．活動のココロ

（１）　私達は今、夫々が社会的にいろんな思いや知見やウデをもって、社会人として、人間としての大切な**「いのち」**、ホントに偶々に頂いたこの**「いのち」**を生かされて生きています。
この**尊い「いのち」**の**「生きる力」**をしっかりと育むには、自分の「いのち」と共に、他の人達の「いのち」、多くの生物達の「いのち」への**思いやり、慈しみ**が何よりも大切な事でしょう。
この**「生きる力」**を単に知識でなく、体感して気づいて思い知ることが、**自分づくりによる人財づくり**という教育の原点なのでしょう。
いうまでもなく、教育とは知識を教えて育てること以上に、自ら学ぶココロ、特に「いのち」に気づくココロを**育（はぐく）む**事が基本でしょう。
その育みへの大切な時期は幼児期から学童期にかけてのココロが育つ頃です。
特に**「三つ子の魂百まで」**の最も大切な**３～６才での食育による幼児教育は教育の原点**であり、その後の人生を大きく左右するものでしょう。

（２）**食育**は知育、徳育、体育の基本だとされていますが、現実の食育は、食材の栄養と健康を中心に健全な食などに具体的な重点がおかれている傾向があり、最も大切な「いのち」をいただいている私達の「いのち」という観点が欠けているようです。　「食育」という字は、食材の「いのち」をわが身にいただいて「人を良く育む」と書きます。　「いのち」の尊さ、有難さ、大切さ、不思議さを、自分で植物の「いのち」を育てることで、**「いのち」に気づくココロを育（はぐく）むホンマモンの食育**が大切です。
全ての生物は共に、太陽、水、空気、土、等からなる大自然の循環環境に生かされて共生していること、そして、そこに生きる全ての生物の「いのち」の犠牲による**食物連鎖の頂点**で、私達人間は有り難く生かされていることに感謝し、そのご恩を感じて、人生を有意義に活き活きと、**いのちキラキラ**と生きることを未来世代に期待したいものです。
私達の**「有り難う」**は「滅多に有ること難し」「千載一遇」への「凄いいのち」への感謝表現なのです。
この極めて大切な事を、幼児期に母親を通しての体感で育む事です。

（３）　そのためには、幼稚園で、「土いのち」に触れ、作物の「いのち」の成育を自分で体感し、観察、収穫や共食を通しての体験学習をすることが重要です。「身土不二」です。　園児とその母親とが、送迎時に水やり等の世話をして園児一人一鉢で育てることです。虫の「いのち」にも気づくでしょう。

土や水や肥料の「いのち」に育てられた野菜の「いのち」をわが身にいただく事で、「いのち」の大切さを身体で感じとり、お陰様で生かされていることに心から感謝して、**「生きる力」**を育めるものです。
「いのち」の体感教育です。　「いのち」を身体で感じる事であり、**仲間と共に親子で気づく**事です。

食べ物の「いのち」を**「いただきます」「ごちそうさまでした」**、更には、食べ残すことは「いのち」が**「勿体ない」**（「いのち」ほどに大切なものを粗末にする、捨てる）ということなどの、昔からの日本文明の想い、全ての「いのち」あるモノのお陰様、感謝の想いを、大切に育（はぐく）み続けたいものです。

食材としての野菜を、自分と母親とで毎日水を与え、手を添えて育て上げ、成育の様子を観察し、写生し、仲間と共に喜び合い一緒に頂くのです。　その「いのち」と語り合いながら、その「いのち」の大切さを想い、無駄にせず、園や家庭でその**「いのち」に手を合わせて、合掌**していただくのです。

（4）　この活動を通じて、食材の「いのち」を自分で育てながら、身体で感じながら、自分や他の人達の「いのち」の大切さについて、母親を介しつつ、幼児期に育（はぐく）めることは極めて重要なことです。
それは、全ての「いのち」ある人や動植物やモノへの**思いやり、労り、慈しみ**の心を育てるものです。
人間として生きていくのに最も大切で不可欠な事でしょう。
都市化と共に自然環境が乏しくなり、鳥や虫や川の魚や田畑の野菜等の「いのち」への触れ合い機会が希薄です。　この触れ合いを、身近に身体で感じ合える育みが何よりも必要です。

活動の開始時に、全園長先生の集会で紹介しました**「金子みすず」**（昭和初期に日本人の精神風土を呼び起こし、動物や植物や土等にも「いのち」の語りかけをし、限りない慈しみ、お陰様のココロを子供達に育む約５００編の詩を遺した詩人。お魚。土と草。蓮と鶏。露。不思議等）のココロでもあると思います。

更に言えば、現状の日本社会での家庭の実情からは、子育てに戸惑う母親自身が子供と園と一体になって、全ての「いのち」の重み、尊さを味わいながら、野菜の「いのち」の成育を通して感動を共有することで、**親子の心のつながりを深め合える**ものです。

現代は、数代に亘る核家族化、地域共同体の弱体化、家庭や学校での徳育の希薄化などにより、家庭内外での躾のいい加減さ、モノの豊かさと共に廃棄への無関心さ、昔から伝わる生活文化が引き継がれず、これを残念なことに、当たり前だと思う母親や困惑している母親がいるのが現実です。
この活動は園児が主役ですが、何よりも**母親の気づき**があってこそなのです。
更には、切れる青少年の犯罪、若者が無気力で依存性が強く生活力欠落など、少子化も含めて、国として、地域社会としての大問題が山積しています。
これらへの基本的な対応として、時代を越えて、**幼児期に「いのち有り難う」の食の躾**が非常に重要なことです。

日本の明るい希望の未来に向けて、地域の幼い子供達の心を育む活動として、この「いのちキラキラ食栽活動」を地域の集団としてのロータリークラブが理念を確かに持って、日本文明、日本文化の「いのち」、未来の日本人の「いのち」の育みに永続的に役割を果たしていきたいものです。
そのことにより、ホンマモンの「いのちの食育」を通しての人財づくり、地域づくり、日本文明国家づくり、慈しみ合える世界平和づくりに繋がるものと思います。

２．活動内容と経過

① 高槻市教育委員会と協働して、高槻市立２３全園の年長組の年間約８００名で実施中。　母と子が一緒に自己管理して、一鉢の野菜（ブロッコリーなど）を土づくりや種植え、毎日の水やり、虫の「いのち」とも関わりながら、日々観察、お互いに成長を楽しみ、写生し、記録し、収穫し、その「いのち」を園や家庭で味わっていただくことに大変な喜びを感じていただいています。
５年間のプロジェクトが大成功と判断されましたので、一年間の有志支援活動の後、永続的なクラブの活動と決定し、それ以降現在までプロジェクトではなく、**「いのちキラキラ食栽活動」**として継続実施中です。　これを支えるのは、園長先生方を含め推進委員の先生方の熱心な指導やロータリークラブの物心両面での支援や祖父母や農経験住民の協力等による一体感活動です。

② クラブとしては、教育委員会、全園と一体になり、推進委員活動チームのメンバーに会長、幹事や社会奉仕委員が中心になって参加。　実状観察、意見交換などでの役割。
活動開始直後には、先生方と共に、高槻市内のハイポニカでのトマトの栽培見学。生命誌研究館の見学と中村館長のお話。　明治製菓でのカカオ豆などの栽培や菓子工程の見学などを企画実施。
物的支援は鉢や土や種などの支援。　その費用としては、最初の５年間は年間４０万円支給。　その後は、市が成果を評価して永続活動として半額を予算化。　現在はクラブとしては年間２０万円です。

③ この１０年間、先生方のご努力以外に、クラブとしては、全会員の見識と努力で育て上げられてきた活動です。　他に類が見られないほどに、２６６０地区や他のクラブにも高い評価をされてきています。「ロータリーの友」にも紹介され、国内のみならず英文で海外にも紹介されてきました。　今年のIMでの当クラブの発表テーマにもなりました。

３．現場からの活動成果

① 食事に身近な植物の成長を日々喜び、観察し、子供達にも活き活き笑顔が見受けられ、親自身も食栽と子供の「いのち」の育みと成長過程を体感。　幼児が知識として頭での理解以前に、全ての「いのち」の大切さを仲間や親と共に末永い記憶として身体で感じあっていると報告されています。

② 食栽を介して、母と子とが感動を共有し、心の繋がりを深められ、お互いの愛情を育てあっている事でもあります。　子育てに不安感のある現代の若い母世代自身が体験していなかった野菜の栽培を通じて、「いのち」の育みの大切さを体感し、家庭での他の兄弟への子育てにも効果があったとの報告。

③ 子供達自身が「いのち」の大切さに気付き、葉を食べる青虫の「いのち」も大切に虫かごで育てているとの体験報告。　葉っぱを食べる小鳥や虫も生きる事に大変なんだ、茶色の種から青い芽がでる不思議さ、葉っぱの真ん中にブロッコリーの赤ちゃんができる不思議さなど、何事にも「なぜ」への疑問と答えをその場で体感し、格好の情操教育現場である等が報告されています。

④ 一人一鉢で育てつつ、周りも見つつ、個と全の関わりで集団の中の自分を意識しつつ、園全体としての幼児と母と先生が一体となっての育み効果が生みだされています。　親同士での会話も弾む、通園が楽しくなるなど期待以上の成果があることを毎年の委員会で報告されています。

⑤ 高槻市立幼稚園としては、毎年「子供達の心を育むいのちキラキラ植栽活動」約６０ページのしっかりした内容での記録誌を、豊かな心を育む親子栽培記録として作成し、各所に配布されています。
これまで１０年間の卒園児達は約８０００人以上にもなります。母親もほぼ同数です。

卒園児達にとって、この活動で得てきたものは母親を介しつつも、その後の人生での自分の「いのち」の尊さ、他人の「いのち」への思いやり、慈しみ等の大切な**ココロの育みへの大きな宝物**になっていくものと確信しています。　この活動が**末永くバトンタッチ**されていく事を期待しています。　　以上

◎ニコニコ箱報告

・誕生記念内祝　　西田君、藤井君
・入会記念　　早川君
・創業記念　　藤井君
・卓話を聴いて頂いて　　本多君
・社会奉仕委員会の皆さま、お疲れ様でした。　石田君
・各記念月お祝の皆様へ、おめでとうございます!!心からお祝申し上げます。　河合君

本日の合計　　￥　35,000-
7/1 よりの累計　　￥　473,000-

◎R 財団への寄付

河合　一人君　￥5,000-

本日の合計　　￥　5,000-
7/1 よりの累計　　￥　220,000-
一人当たり平均　＄38.52

◎米山奨学会への寄付

浜田　厚男君　￥5,000-

本日の合計　　￥　5,000-
7/1 よりの累計　　￥　212,500-
（会員より　￥　85,000-
ｸﾗﾌﾞより　￥　127,500-）
一人当たり平均　￥4,167-

◎青少年育成基金への寄付

浜田　厚男君　￥5,000-　早川　博之君　￥5,000-
石田　佳弘君　￥5,000-
伊藤　智秋君　￥10,000-(台風お見舞い申し上げます)
河合　一人君　￥10,000-　清水　利男君　￥5,000-

本日の合計　￥ 40,000-
7/1 よりの累計　￥ 320,000-

◎ポリオプラス基金への寄付

￥5,000-×5 名　　￥500-×1 名

本日の合計　　￥　25,500-
8/22 よりの累計　　￥　205,500-

◎卓上花

白バラ　　…純潔
ヒペリカム…きらめき

2018－2019 年 度 例 会 プ ロ グ ラ ム

2018.9.5　修正

月	日	内　容	例会後の行事	備　考
9月	5	記念月御祝/ 卓話(本多)	定例理事会･65 周年実行委員会	基本的教育と識字率向上月間
	12	卓話(古川、上村)		ロータリーの友月間
	19	卓話(丸山、山口)		秋のライラ （9/22～24）
	26	卓話(藤井)、ガバナー補佐訪問	クラブアッセンブリー	＊社会奉仕委員会
10月	3	記念月御祝/委員会例会	定例理事会･65 周年実行委員会	経済と地域社会の発展月間
	10	ガバナー公式訪問		米山月間
	17	卓話(西本)	職場見学会(例会場)	
	24	卓話(飯島、白石)		
	31	定款による休会		＊職業奉仕委員会
11月	7	記念月御祝卓話(藤田)	定例理事会･65 周年実行委員会	ロータリー財団月間
	14	卓話(川面)		11/3 オレンジゴスペル
	21	卓話(光本･田渕)		
	28	卓話(西田)		＊国際奉仕委員会